

情報 ひがし 労

第 1 号

2025年 6月 7日

JR東労働組合 中央本部

発行人 松下 明

第10回定期大会成功裡に終了！

JR東労働組合



『プロレタリアヒューマニズム』を基底に、日本労働運動を雄々しく前進させていこう！

JR東労働組合は6月6日、熊谷市立市民文化センター文化会館において「第10回定期大会」を開催しました。第9回定期大会以降の闘いを総括し、『プロレタリアヒューマニズム』を基底に、産業・事業構造の再編による「三位一体の労働市場改革」に立ち向かい、大軍拡と憲法改悪、原発推進、「産業報国会化」する日本労働運動に抗して、組織の強化・拡大を勝ち取り、横断的労働組合をJR東海労と共に創造していく、物価高から生活を守るために第27回参議院議員通常選挙に勝利していくことを満場一致で確認しました。

松下中央執行委員長から、①『JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方事業運営体制と人事・賃金制度』をはじめとした産業・事業構造の再編に立ち向かい、「生活と健康と安全」を守り抜く闘い②貧困と格差社会に立ち向かい、組織の強化・拡大を勝ち取り、横断的労働組合を創造する闘い③戦後80年！「平和・人権・環境・民主主義」を守り抜くため、広範な戦線を構築していく、第27回参議院議員通常選挙に勝利する闘いについて挨拶をしました。

また、来賓として鎌田さゆり衆議院議員、森田俊和衆議院議員、河村正剛第27回参議院選挙群馬県選挙区立候補予定者、JR東海労働組合洲上利和中央執行委員長、こくみん共済coop群馬推進本部高崎エリア推進課中島省吾課長、OB会山本一善会長、菊地陽一顧問弁護士にお越しいただき、ご挨拶をいただきました。

質疑では20名の代議員から、①産業・事業構造の再編に伴う「構造的賃上げ」に抗して、「生活と健康と安全」を掲げ、組合員と共に怒りを持って闘い、組織拡大に繋げた取り組み②「地域型組織づくり」の活動、「ひがし労働者」や「生活サポート」、企業の枠を超えた取り組み③史実研修などを通じて、戦後80年を振り返り歴史的事実を学んできた取り組みなど実践をもとにした発言がありました。

そして、鈴木書記長から①産業・事業構造の再編に基づいた、「三位一体の労働市場改革に抗し「生活と健康と安全」を守り抜いていく②貧困と格差社会に立ち向かい、組織の強化・拡大を勝ち取り、横断的労働組合を創造していく③戦後80年、子どもたちの平和な未来をつくるため、「平和・人権・環境・民主主義」を守り抜く、第27回参議院議員通常選挙に勝利していくことなどについて答弁しました。

世界では、戦争と貧困、圧政に覆われた暗黒深まる無秩序な状態の中で、富める者と貧しき者といわれる所得格差が拡大しています。ひがし労は、困っている人や苦しんでいる人へ手を差し伸べ、生活環境改善のために組合員が協力して助け合う運動を展開し、運動に共鳴した市民が加入してきていました。今後も、プロレタリアヒューマニズムを基底に日本労働運動を乗り越え、三河屋運動を展開し、組合員相互の絆を強化しながら、組織の強化拡大を目指していきます。